

●授業評価

✓ 5～6個 4点 4個 3点 3個 2点 2個～1個 1点 0個 0点

1 3C管理の指導が徹底でき、改善提案ができています

- ☐ 【小テスト管理】小テストで9割をこたわらせることができています。
- ☐ 【遅刻・出欠管理】遅刻は少しでも遅刻したら相手に合わせて指摘ができています。
- ☐ 【宿題管理】宿題に関して忘れた場合でもそのままにせず改善を促す提案ができています。
- ☐ 【約束】3Cを破ってしまった場合、改善することを明確にして、約束を取り付けることができています。
- ☐ 【居残り提案】宿題・小テストに関しては居残り等をさせて帰らせる事ができています。
- ☐ 【意味付け】3Cを破った時に宿題や遅刻や小テストに対する意味を伝えることができています。

2 宿題・問題演習が全て○になる授業ができています

- ☐ 【宿題選び】宿題が全て○になるように適切に宿題を選び、目標から逆算した適切な量を出す事ができています。
- ☐ 【わかりやすい授業】宿題が全て○になるように授業を意識する事ができています。
- ☐ 【○にするこだわり】問題演習が全て○になるように子ども達にとってわかりやすい説明ができています。
- ☐ 【机間巡視】小まめに机間巡視をして、目視で○つけをして問題演習が○になるようにできています。
- ☐ 【端的さ】授業の説明の時間をできるだけ短くして、問題演習ができるように工夫ができています。
- ☐ 【生徒による対応】生徒により、宿題の難易度を調節して宿題を出す事ができています。

3 逆算カリキュラムを意識して生徒の指導ができています

- ☐ 【日程の把握】定期テスト・入試等の日程をある程度把握して授業をする事ができています。
- ☐ 【逆算思考】残りの授業回数を意識して今やるべき効果的な指導ができています。
- ☐ 【逆算思考】模擬テストに最低でも2週間前までに入れるように指導をする事ができています。
- ☐ 【学校のワーク管理】学校のワークの管理等を意識して指導をする事ができています。
- ☐ 【カリキュラム作成】担当生徒の定期テストの試験範囲を予想し、逆算カリキュラムを立てて指導ができています。
- ☐ 【指導方針共有】カルテに指導方針等を書き、他の講師にもわかりやすく共有する事ができています。

4 6つの求める講師像を意識し、生徒に愛される関わりができています

- ☐ 【明・元・素】明るく・元気に・素直で子ども達に接する事ができています。
- ☐ 【オープンマインド】自分のGood & New等の話も共有することを大事にする事ができています。
- ☐ 【自己重要感を高める】基本的に毎授業、生徒の様子を尋ねる質問をする事ができています。
- ☐ 【自己重要感を高める】生徒の好きなこと・個性を把握して授業をする事ができています。
- ☐ 【遊び心】遊び心を持って子ども達を楽しませる授業を提供する事ができています。
- ☐ 【生徒との距離感】生徒と程よく近い関係であり、きちんと指示をしたら実行できる関係になっている。

●授業評価

✓ 5～6個 4点 4個 3点 3個 2点 2個～1個 1点 0個 0点

5 勉強のやる気が上がり、学習習慣・態度が良くなる指導ができている

- ☐ 【目的・目標意識】生徒に目的・目標意識をさせる事ができて、生徒のやる気を高める事ができている
- ☐ 【家庭学習管理】生徒の家での家庭学習のことも考えて、指導をする事ができている
- ☐ 【自習指導】生徒に自習を誘ったり、学習量を増やす提案ができている。
- ☐ 【態度指導】学校の授業態度・ノート提出・学校の小テストを考えて指導する事ができている
- ☐ 【改善指導】相手のためを思って、ダメだと思ったことは伝える事ができている
- ☐ 【叱る指導】生徒に改善してほしいことがある時に伝えることができ、直らない場合は叱ることができる。

6 学校進捗を確認し、生徒の目標達成に向け責任感を持ち指導している

- ☐ 【担当生徒の責任感意識】生徒の目標達成に向けて今、何をすべきかと考えて行動する事ができている
- ☐ 【担当生徒の責任感意識】もし都合で休む時、引き継ぐ先生に生徒の情報を共有している。
- ☐ 【赤丸指導】生徒が間違えたところ・怪しかったところに赤丸をつけてわからないところが明確になっている
- ☐ 【学校進捗チェック】学校進捗を確認して、定期テストの試験範囲を予想しながら指導する事ができている
- ☐ 【生徒の定期テストのチェック】生徒の定期テストを把握し、それに基づく指導ができている
- ☐ 【イベント提案】ドカン講座を勧めたり自習を勧めたり、生徒の目標達成に向けてできることをしている

7 生徒の自己重要感を高める関わりができている

- ☐ 【褒める指導】生徒の内面をほめることを意識してほめる事ができている
- ☐ 【褒める指導】生徒の当たり前前にできている事を褒める事ができている
- ☐ 【褒め方】生徒に、具体的にすかさず、感情を込めてほめる事ができている
- ☐ 【褒め方】生徒に褒める時に笑顔や拍手等飲身振りで表現する事ができている。
- ☐ 【生徒の個性の把握】生徒の様子を尋ねるようにして、次の授業でも覚えているなど、気遣いができている
- ☐ 【生徒の個性の把握】生徒が好きなもの・得意なことに関心を持つ事ができている

8 生徒に自信・学ぶ楽しさ・勉強法等の付加価値を届ける指導ができている

- ☐ 【自信をつける指導】他信を自信に変えられるように、生徒の可能性を信じる関わりができている
- ☐ 【自信をつける指導】3つの約束（生徒・自分・時間）を意識して指導する事ができている
- ☐ 【楽しい指導】授業中に生徒を2回以上笑わせる事ができている
- ☐ 【楽しい指導】勉強や学習することの意義や意味を伝える事ができている
- ☐ 【勉強法】生徒とより良い勉強法を考えて、提案する事ができている
- ☐ 【勉強法】生徒に復習の大切さを伝えて、繰り返し行う事の重要性を伝える事ができている

●授業評価

✓ 5～6個 4点 4個 3点 3個 2点 2個～1個 1点 0個 0点

9 1対2を1対1のクオリティーでできている

- ☐ 【授業設計】生徒のことをよく見て、適切な授業の組み立てをする事ができている。
- ☐ 【授業設計】生徒二人が授業のゴールに向かって最適な配分で生徒の指導をする事ができている
- ☐ 【授業設計】予測をして、生徒に説明する時間が被らないように授業をする事ができている。
- ☐ 【暇にならない】生徒二人が暇にならないように授業を工夫して行う事ができている。
- ☐ 【利き腕意識】勉強が少し苦手な生徒や見てあげないといけない生徒を右側[左側]に座らせている。（利き腕）
- ☐ 【指示出し】細かい指示出しを生徒に出す事ができていて、生徒がやる事がわからない状態が少ない

10 準備をして授業時間を最大限使い、与えられる価値を全て届けている

- ☐ 【時間を見る】50分・75分の授業の中で時計を小まめに見てどこで着地をするか考えて行動できている。
- ☐ 【時間を使い切る】チャイムが鳴るまで時間を使い切り、時間を無駄にする事なく授業をする事ができている
- ☐ 【授業の価値の最大化】授業がわかりやすいだけでなく、その先や家での学習等も考えて指導できている
- ☐ 【授業の価値の最大化】スキマ時間はカリキュラムを書いたり、事務を行ったり生徒や校舎のために時間を使う事ができている
- ☐ 【事前準備】授業準備でプリント等をきちんと準備していて子ども達が暇になる時間が少ない
- ☐ 【事前準備】授業準備では授業の構成を考えて、行動する事ができている。

●職務評価

1 勤務姿勢

- ☐ 0点→無断欠席・無断遅刻を期間内で2回以上、行ったことがある。
- ☐ 1点→事前に申し出がある遅刻・欠勤のルールを守れていない欠勤が合計2回以上ある。
- ☐ 2点→シフト通りに勤務している。欠勤する場合は欠勤ルールを守って欠勤できている。
- ☐ 3点→他の講師の代講やドカン講座などのイベント講座に参加してくれている。
- ☐ 4点→他の講師の代講やドカン講座などのイベント講座に積極的に参加してくれている。

2 服装・礼儀

- ☐ 0点→服装・髪型・礼儀などに乱れがあり、講師としてふさわしくない
- ☐ 1点→服装・髪型・礼儀に乱れはないが、規定に沿う配慮が不足している
- ☐ 2点→服装・髪型・礼儀の基準において、2つ以上は基準を超えている
- ☐ 3点→服装・髪型・礼儀の基準において全て基準を超えている
- ☐ 4点→服装・髪型・礼儀の基準において全て問題なく、他の模範となる事ができている。

※服装・髪型・礼儀の基準に関しては写真を基に判断をしていただければと思います。

身だしなみチェックポイント

頭髪

- ・ 黒、茶色を基調とする
- ・ 金髪、派手な色（青やピンク等）派手な巻き髪、変形カットはNG

シャツ・ブラウス

- ・ 基本はスーツ着用
- ・ セミフォーマル可ですが襟付きのシャツやブラウスを着用し、Tシャツ、パーカー、カジュアルなワンピースなどはNG

スカート・パンツ

- ・ 基本はスーツ着用
- ・ セミフォーマル可ですがジーンズや奇抜なスカートなどはNG



【NGな服装】

- ・ 私服感の強いワンピースやトップス
- ・ 柄物のワンピース
- ・ シャツは着用しているがジーパンはNG



評価基準について

身だしなみチェックポイント

シャツ・ネクタイ

- ・基本はスーツ、襟付きのシャツを着用。
- ・セミフォーマルも可

パンツ

- ・基本はスーツ着用
(ジーパンはNG)
- ・ベルトを着用するなどして、腰パンにならないようにする

靴

- ・基本は革靴
- ・スニーカーの場合は、ロゴや色が派手ではないものなら可



保護者様が来て先生のことを良い印象を持ってくれるかどうか大切です！

相手の立場に立って清潔感のある爽やかな身だしなみを心がけましょう！

●礼儀について

礼儀については社会人になってから非常に大事な作法となります。きちんとここで礼儀を身につけて社会人になった時に最低限のマナーを押さえられるようにしていきましょう。

[1]接客七大用語を覚える

接客七大用語は大変便利な言葉なので全て覚えて、使えるようにする。

- ①いらっしゃいませ（おはようございます、こんにちは）
- ②かしこまりました。
- ③恐れ入りますが
- ④少しお待ちくださいませ
- ⑤大変お待たせいたしました
- ⑥申し訳ございません。
- ⑦ありがとうございました。

※「了解」とは、本来「事情を理解し、認めること」という意味です。そこから、目上の人が目下の人に許可を与える時に使う言葉になりました。したがって、目上の人や社外の人に使うのは失礼にあたります。

※「ごめんなさい」は、丁寧なニュアンスが含まれている言葉ではあるものの、命令表現の言葉です。そのため、ビジネスシーンでは用いず、家族や友人など気の知れた間柄でのみ使う方が好ましいです。

[2]ご飯を奢ってもらった時

ご飯を奢ってもらった時は直接奢ってもらった人に3回感謝を伝えましょう。奢ってもらった直後、帰宅後のメールやライン、次回会った時にお礼をするのが常識です。また、企画してくれた人にも感謝を伝えるとより良いと思います。

[3]自分のことは「ぼく」「オレ」ではなく「わたし」「わたくし」

「私（わたし）」は「私（わたくし）」より、少しカジュアルなイメージになる一人称です。会議などのきちんとした場面ではもちろんのこと、取引先との食事の場で使っていてもおかしくありません。かしこまりすぎず、とても使いやすい一人称です。

[4]避けたい態度について

- 足組み
- 返事をしない。

→相手に対する印象が悪くなります。印象を悪くしないように意識しましょう。

[5]レスポンスについて

レスポンスは早いほどビジネスでは信頼を掴むことができます。最低でも上司からの連絡に関しては24時間以内には返すことを意識していきましょう。

●職務評価

3 挨拶

- ☐ 0点→自ら全く挨拶していない。
- ☐ 1点→自分から生徒・保護者・講師へ挨拶をするときとしないときがある。
- ☐ 2点→自分から生徒・保護者・講師へ挨拶をしている。
- ☐ 3点→生徒や保護者、講師が入室した際に、いつも自分から挨拶している。
(明るい声・明るい表情・相手の目を見る2つ以上できている。)
- ☐ 4点→生徒や保護者、講師が入室した際に、いつも自分から挨拶している。
(明るい声・明るい表情・相手の目を見る3つできている。)

※補足

- ✓ 生徒が入ってきたら原則、挨拶をするようにしよう。
- ✓ 保護者様が入ってきたら目を合わせて座ったままで良いので礼をして挨拶をするようにしよう。
- ✓ 講師には休憩時間・隙間時間等に挨拶をしましょう。授業中は入室時だけで大丈夫です。
- ✓ 塾に入室時は『こんにちは』と挨拶をして入室しましょう。
塾を退出時は『お疲れ様でした』と挨拶をして退出しましょう。

4 環境整備

- ☐ 0点→自分が使った場所を綺麗にする事ができていない。
- ☐ 1点→自分が使った場所等、最小限の環境整備しかできていない。
- ☐ 2点→自分が使った場所以外にも環境整備に取り組む事ができている。
- ☐ 3点→積極的にゴミを拾ったりゴミ箱を変えたり、教室環境を良くしようと努力できている。
- ☐ 4点→教室環境を良くしようと率先して行動し、他の講師を巻き込み、より良い教室空間を実現している。

5 生徒対応

- ☐ 0点→生徒優先の姿勢がなく、生徒とコミュニケーションをとっていない
- ☐ 1点→生徒とコミュニケーションをとっているが距離感が近すぎてあまり指示を聞いてくれない事がある。
- ☐ 2点→生徒へのコミュニケーションに問題がなく、生徒からの不満の声もあまりない。
- ☐ 3点→難しい生徒の対応も努力して対応できていて、生徒たちから信頼されていて評判が良い
- ☐ 4点→どんな子でも対応できるコミュニケーションがとれ、信頼が厚く他の講師の模範となる

●職務評価

6 教室貢献

- ☐ 0点→決まった仕事の実行できないことが多く、生徒情報を全く報告できていない
- ☐ 1点→決まった仕事の実行できないことがあり、生徒情報もあまり報告できていない
- ☐ 2点→決まった仕事をしっかり実行し、生徒情報も適切に報告できている
- ☐ 3点→決まった仕事以外も教室の手伝いをし、事務など社員に何かできる事をないか聞いて行動できている。
- ☐ 4点→決まった仕事以外も意欲的に事務や校門前配布等の教室の手伝いができている。

必ず生徒情報を社員に報告し、生徒・保護者から名前が挙がる講師になっている。

●情意考課評価

①【感動追求】 生徒の成績を高めるために何ができるかを常に考え、 生徒に予想外価値を提供して、感動を追求する

塾としての役割である**成績を上げること・志望校合格に導くこと**は我々に取って**当たり前**です。当たり前の価値の基準を高めていき、子ども達の成績をまずは上げていきましょう。そして、**生徒や保護者様に『ここまでしてくれるんですね』**と思ってもらえるようさまざまな価値を与えていきましょう！**感動とは驚きと喜び**です。手厚く**予想外の価値を提供してお客様を感動させるサービス**を提供していくことを意識して、**生徒の恩師（結婚式に呼びたくなる先生）**となりましょう。

<評価基準>

- ☐ 0点→ただこなすだけの仕事をしている。
- ☐ 1点→生徒の成績を上げるために逆算カリキュラムなどのマニュアルをあまり意識できていない。
- ☐ 2点→生徒の成績を上げるために逆算カリキュラムなどのマニュアルを考えて指導し、成績を高められている
- ☐ 3点→生徒の成績を上げるために何ができるか考えるだけでなく、生徒に付加価値を与えることができている。
- ☐ 4点→生徒の成績を上げるだけでなく生徒の長期的な未来を見据えて何が必要か考えて指導をする事ができている。

②【情熱】 生徒に情熱を注ぎ、絶対に目標達成に導くという信念を持って行動している

生徒に**自分自身の思い**をきちんと伝えてこうなっていこうという**ビジョンを見せること**が大事です。生徒にどうなりたいか聞くのは非常に大事ですが、我々の情熱で**生徒をここに引っ張っていくという姿勢がある先生**は信頼感が増していきます。また、そのためには生徒が成績を上げるために**何をすべきかという答え**を知っていて、そこに**効果的に導くという姿勢**が重要になります。それをきちんと実行していけば、その情熱はたくさんの人に**伝播**していきます。自分の生徒に対する情熱を、**他の先生**にも伝播していけるよう行動していくと、自分だけでなくチームで生徒に情熱を注ぐことができます。

<評価基準>

- ☐ 0点→室長先生から言われたことができていない。
- ☐ 1点→最低限、室長先生から言われたことを行い、生徒指導をしている。
- ☐ 2点→室長先生に言われたことと自分で考えて子どもたちのために何が必要かを考えて行動することができている
- ☐ 3点→生徒に自分の想いを伝えて、本気で目の前の人を良くしていこうと努力している。
- ☐ 4点→自分の生徒に対する情熱が生徒に伝わり、生徒が具体的に行動が変わっている。

③【感謝】 4つの感謝（生徒・保護者・講師・環境）に感謝して行動している

生徒がいるから我々は授業をすることができます。**保護者様**が大事なお子様に投資して塾にお金を払ってくれるからお給料をもらうことができます。他の講師の先生がいるから**生徒の様々なニーズ**に対応することができます。この校舎や**働く環境**があるから働くことができます。様々なことに感謝をして行動をしていきましょう。感謝の気持ちは見えないパワーですが大きなパワーとなります。感謝を**具体的な行動**で完結していきましょう。感謝の力を育て、豊かな人になり、子供たちを幸せにしていきましょう。

<評価基準>

- ☐ 0点→感謝を全く伝えていない。
- ☐ 1点→使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを1つ以上実践できている。
- ☐ 2点→使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを2つ以上実践できている。
- ☐ 3点→使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを3つ以上実践できている。
- ☐ 4点→使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを全て実践できている。

④【規律】 講師ハンドブックに載っているルールを基にした行動ができている

自由とは**ルールがあるからこそ自由を得ることができます**。ルールがない場所では人間は自由を得ることは困難です。塾で働く人が全て**良い気持ちになれるよう**規律を徹底していきましょう。社会人になると少しの遅刻でもアウトです。最低限の当たり前の行動ができない人は社会で活躍することはできません。きちんと講師ハンドブックをよく読み、**規律**を徹底した人になって社会で活躍できる人財になっていきましょう。

<評価基準>

- ☐ 0点→講師ハンドブックに載っているルールを破っていることが何度もある。
- ☐ 1点→講師ハンドブックに載っているルールを少し守れていないことがある。
- ☐ 2点→講師ハンドブックに載っているルールを半年で1回守れていない事があるが、概ね守れている
- ☐ 3点→講師ハンドブックに載っているルールを全て守り、行動することができる。
- ☐ 4点→講師ハンドブックに載っているルールを全て守り、他の講師にも影響を与えることができる。

⑤【成長】 働く目的が明確で自分自身の成長をするために環境を活用している

なぜ、**ビジョナリー学習塾で働いているか**。子ども達にどうなってもらいたくて働いているのか。この**目的意識**を常に持ち続けていきましょう。そして、**自分自身がどのように成長していきたいか**というビジョンを持って働いていきましょう。この目的が**明確であればあるほど働く意義も明確になります**。そして、塾で行う勉強会・研修等に積極的に参加していきましょう。その情報や知識があなたの人生を支える基盤になるかもしれません。

- ☐ 0点→働く目的が明確ではなく、自分自身を成長させることを考えていない。
- ☐ 1点→働く目的が少し明確であり、自分自身の成長を少し考えて行動している。
- ☐ 2点→働く目的が明確で塾で行う研修にも参加して自身の成長に向けて努力している
- ☐ 3点→働く目的が明確で塾で行う研修にも基本参加していて、成長を掴むことができる。
- ☐ 4点→自分だけでなく他の講師の成長を促す関わりができている。

⑥【共創】 講師同士のコミュニケーションを大事にして協力して生徒の目標を目指している

講師・社員との**コミュニケーション**を大事にいきましょう。生徒を一人で良い方向に導くのは簡単ではありません。社員の先生にきちんと方針を確認したり、わからないことがあったら**聞くこと**を意識していきましょう。先生方と**連携**をとって、**この子を良くしていきましょう**という声掛けが飛び交うコミュニケーションを是非意識していきましょう。そして、その連携により自分の授業の改善や生徒への接し方を具体的に変えていき、生徒の目標達成に導いていきましょう。

<評価基準>

- ☐ 0点→講師同士で全くコミュニケーションが取れていない。
- ☐ 1点→特定の講師とだけコミュニケーションを取っている。
- ☐ 2点→他の講師と積極的に話すように心がけていて行動することができる。
- ☐ 3点→校舎や生徒の目標達成に向けて、講師同士で情報共有ができている
- ☐ 4点→校舎や生徒の目標達成に向けて、何ができるかを考えて感じたことを発信することができる。

職務評価表

ビジョナリー学習塾

1～4の実線太枠内を記入し、所属校舎の教室長まで提出してください。

※ は社員使用欄

1. 講師名

※所属校舎に○（複数可）
西新宿校 ・ 方南町校

2. 授業評価

※該当するものに○をつけてください。

評価項目	0点	1点	2点	3点	4点	評価点数	
						本人	決定
3C管理の指導が徹底でき、改善提案ができています（約束・居残り・意味付け）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
宿題・問題演習が全て○になる授業ができています（宿題の量・机間巡視・わかりやすさ）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
逆算カリキュラムを意識して生徒の指導ができています（逆算思考・ワーク管理）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
6つの求める講師像を意識し、生徒に愛される関わりができています（明・元・素）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
勉強のやる気が上がり、学習習慣・態度が良くなる指導ができています（自習提案・目標）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
学校進度を確認し、生徒の目標達成に向け責任感を持ち指導している	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
生徒の自己重要感を高める関わりができています（褒める・褒め方・個性の把握）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
生徒に自信・学ぶ楽しさ・勉強法等の付加価値を届ける指導ができています	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
1対2の授業を1対1のクオリティーでできています（短くわかりやすく・授業設計）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		
準備をして授業時間を最大限使い、与えられる価値を全て届けている（時間意識）	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分		

授業評価合計点数

点

/40点満点

決定①

点

3. 職務評価

※該当するものに○をつけてください。

評価項目	0点	1点	2点	3点	4点	評価点数	
						本人	決定
勤務姿勢 ※遅刻は授業開始10分前に校舎に到着しているかどうかとなります。	無断欠席・無断遅刻を期間内で2回以上、行ったことがある。	事前に申し出がある遅刻・欠勤のルールを守れていない欠勤が合計2回以上ある。	シフト通りに勤務している。欠勤する場合は欠勤ルールを守って欠勤できている。	他の講師の代講やドカン講座などのイベント講座に参加してくれている。	他の講師の代講やドカン講座などのイベント講座に積極的に参加してくれている。		
服装・礼儀	服装・髪型・礼儀などに乱れがあり、講師としてふさわしくない	服装・髪型・礼儀に乱れはないが、規定に沿う配慮が不足している	服装・髪型・礼儀の基準において、2つ以上は基準を超えている	服装・髪型・礼儀の基準において全て基準を超えている。	服装・髪型・礼儀の基準において全て問題なく、他の模範となることのできている。		
挨拶	自ら全く挨拶していない。	自分から生徒・保護者・講師へ挨拶をするときとしないときがある。	自分から生徒・保護者・講師へ挨拶をしている。	生徒や保護者、講師が入室した際に、いつも自分から明るい声・表情・相手の目を見る2つ以上で挨拶できている。	生徒や保護者、講師が入室した際に、いつも自分から明るい声・表情・相手の目を見るの3つ全てで挨拶できている。		
環境整備	自分が使った場所を綺麗にする事ができていない。	自分が使った場所等、最小限の環境整備しかできていない。	自分が使った場所以外にも環境整備に取り組む事ができている。	積極的にゴミを拾ったりゴミ箱を変えたり、教室環境を良くしようと努力できている。	教室環境を良くしようと率先して行動し、他の講師を巻き込み、より良い教室空間を実現している。		
生徒対応	生徒優先の姿勢がなく、生徒とコミュニケーションをとっていない	生徒とコミュニケーションをとっているが距離感が近すぎてあまり指示を聞いてくれない事がある。	生徒へのコミュニケーションに問題がなく、生徒からの不満の声もあまりない。	難しい生徒の対応も努力してできていて、生徒たちから信頼されていて評判が良い。	どんな子でも対応できるコミュニケーションがとれ、信頼が厚く他の講師の模範となる		
教室貢献	決まった仕事の実行できないことが多く、生徒情報を報告できていない	決まった仕事の実行できないことがあり、生徒情報もあまり報告できていない	決まった仕事をしっかり実行し、生徒情報も適切に報告できている	決まった仕事以外にも教室の手伝いをし、事務など社員に何かできる事をないか聞いて行動できている。	決まった仕事以外にも意欲的に事務や校門前配布等の教室の手伝いができている。		

職務評価合計点数

点

/24点満点

決定②

点

評価基準について

4. 情意考課評価

※該当するものに○をつけてください。

評価項目	0点	1点	2点	3点	4点	評価点数	
						本人	決定
『感動追求』 生徒の求めているものを提供し、 予想外価値を提供し、感動を追求する	ただこなすだけの仕事をしている	生徒の成績を上げるために逆算カリキュラムなどのマニュアルをあまり意識できていない。	生徒の成績を上げるために逆算カリキュラムなどのマニュアルを考えて指導し、成績を高められている	生徒の成績を上げるために何ができるか考えるだけでなく、生徒に付加価値を与えることができている。	生徒の成績を上げるだけでなく生徒の長期的な未来を見据えて何が必要か考えて指導をする事ができている。		
『情熱』 生徒に情熱を注ぎ、絶対に目標達成に導くという信念を持って行動している	室長先生から言われたことができていない。	最低限、室長先生から言われたことを行い、生徒指導をしている。	室長先生に言われたことと自分で考えて子どもたちのために何が必要かを考えて行動することができている	生徒に自分の想いを伝えて、本気で目の前の人を良くしていこうと努力している。	自分の生徒に対する情熱が生徒に伝わり、生徒が具体的に行動が変わっている。		
『感謝』 4つの感謝（生徒・保護者・講師・環境）に感謝して行動している	感謝を全く伝えていない。	使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを1つ以上実践できている。	使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを2つ以上実践できている。	使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを3つ以上実践できている。	使った物を元に戻し、使った場所を綺麗にし、ラインのリアクションをし、感謝を生徒や講師に伝えることを全て実践できている。		
『規律』 講師ハンドブックに載っているルールを基にした行動ができている	講師ハンドブックに載っているルールを破っていることが何度もある。	講師ハンドブックに載っているルールを少し守れないことがある。	講師ハンドブックに載っているルールを半年で1回守れていない事があるが、概ね守れている	講師ハンドブックに載っているルールを全て守り、行動することができている。	講師ハンドブックに載っているルールを全て守り、他の講師にも影響を与えることができている		
『成長』 働く目的が明確で自分自身の成長をするためにこの環境を活用している。	働く目的が明確ではなく、自分自身を成長させることを考えていない。	働く目的が少し明確であり、自分自身の成長を少し考えて行動している。	働く目的が明確で塾で行う研修にも参加して自身の成長に向けて努力している。	働く目的が明確で塾で行う研修にも基本参加していて、成長を掴むことができている。	自分だけでなく他の講師の成長を促す関わりができている。		
『共創』 講師同士のコミュニケーションを大事にして協力して生徒の目標を目指している。	講師同士で全くコミュニケーションが取れていない。	特定の講師とだけコミュニケーションを取っている。	他の講師と積極的に話すように心がけていて行動することができている。	校舎や生徒の目標達成に向けて、講師同士で情報共有ができている。	校舎や生徒の目標達成に向けて、何ができるかを考えて感じたことを発信することができている。		

情意考課評価合計点数

点 / 24点満点

決定③

点

5. 考課者チェック

第一次考課者 氏名	第二次考課者 氏名	塾長承認

管理
チェック

決定①+②+③= 点
時給 円

評価	S	A	B	C	D	今回のランク
点数	79/88	70/88	62/88	53/88	53未満	

＜将来の夢・やりたいことを書いてください＞

＜どんな大学生活を送っていきたいですか？＞

＜ビジョナリー学習塾でなぜ働いていますか？＞

＜どんな先生になりたいですか？＞

＜塾で成長したいことを5つ挙げてください＞

①

②

③

④

⑤

＜この半年間の塾でのテーマ・目標を書いてください＞

①働く目的・自分自身の成長テーマ

②今日のテーマ (例)宿題撲滅。宿題が○になる授業。1対2を1対1クオリティー。

③3Cチェック

宿題
／

出欠
／

小テスト
／

<授業の振り返り>

振り返り項目	2点	4点	6点	8点	10点	点数
①10分前に校舎に来て良い準備がをすることができた (事前に①・②の記入・配布プリントの準備・カルテ記入・共有もらう)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
②3C管理の指導が徹底でき、改善提案ができています (宿題・小テスト・遅刻・居残り・約束・意味付け)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
③宿題・問題演習が全て○になる授業を提供した (適切な量の宿題・わかりやすさ・机間巡視・端的さ)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
④逆算カリキュラムを意識して生徒の指導ができています (最短距離の逆算思考・テスト日程把握・ワーク管理・カリキュラム)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑤6つの求める講師像を意識し、生徒に愛される関わりができています (明・元・素・オープンマインド・個性の把握・遊び心・生徒との距離感)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑥勉強のやる気が上がり、学習習慣・態度が良くなる指導ができています (目的・目標意識・家庭学習管理・自習管理・態度指導・改善指導・叱る指導)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑦学校進度を確認し、生徒の目標達成に向け責任感を持ち指導している (担当生徒意識・赤丸指導・学校進度チェック・イベント提案)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑧生徒の自己重要感を高める関わりができています (褒める指導・褒め方・生徒の個性の把握)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑨生徒に自信・学ぶ楽しさ・勉強法等の付加価値を届ける指導ができています (自信を高める指導・楽しい授業・勉強法の提案)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
⑩1対2の授業を1対1のクオリティーレベルでできた (授業設計・暇にならない・利き腕意識・指示出し)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	
11 準備をして授業時間を最大限使い、与えられる価値を全て届けている (時間を見る・時間の価値の最大化・事前準備)	不十分	やや不十分	ふつう	やや十分	十分	

ずばり今日の授業は

／110点

点

<良かったところ・今日の授業をもう一度やり直すとしたら>

<良かったこと>

<今日の授業をもう一度やり直すとしたら>